

特集

たかやま広報

Takayama

考えてみませんか？
未来の高山のこと

エス・ディー・ジーズ

SDGs 特集

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)

SDGsは、「Sustainable Development Goals」の略で、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

SDGsって何？

市では、「誰一人取り残さない」という理念のもと、SDGs(エス・ディー・ジーズ)達成に向けた取り組みを進めています。
SDGsの取り組みは、決して他人ごとでも、難しいことでもなく、一人ひとりが身近なところから始められる取り組みです。
この特集を通じて、皆さんもSDGsに取り組みましょう。

SDGsには、17の目標が定められています。その17の目標は、大きく3つに分けられます。

- ① エネルギーや資源の活用、働き方の改善、不平等の解消など持続可能で経済成長を目指す経済の問題
- ② 貧困や飢餓、教育など社会の問題
- ③ 地球環境や気候変動など地球規模で取り組むべき環境の問題

SDGsは、経済、社会、環境の3つの側面から捉えることができる17のゴールを、総合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。



SDGs 未来都市計画

～世界を魅了し続ける 『国際観光都市 飛騨高山』 の実現～

令和3年5月、市は国による「SDGs 未来都市」の選定を受けました。これは、SDGsの達成に向けて優れた取り組みを提案する都市として選定されたもので、令和4年5月時点で、154の都市が選定されています。

この選定を受け、「世界を魅了し続ける『国際観光都市 飛騨高山』の実現」を目指した市SDGs未来都市計画を策定しました。日本一広い市域に広がる豊かな自然、歴史、文化、伝統、匠の技、暖かい人情など、先人たちのためめ献身的な努力により、脈々と引き継がれてきた宝を、次世代へつなぐため、取り組みを進めます。

未来都市計画の概要（2030年のあるべき姿と取り組み）

【経済】

地域特性を活かした産業が活性化し、賑わいと魅力にあふれるまち

- 観光まちづくりの推進
- 飛騨高山ブランドの強化
- 地域循環型経済の構築

【社会】

歴史・伝統が継承され、郷土への誇り、愛着が持てるまち

- 歴史・伝統の保存、継承
- 夢と誇りが持てる社会の構築
- ともに支えあふしくみの構築

【環境】

自然がもたらす多様な恵みを活かすとともに、脱炭素社会に貢献するまち

- 脱炭素社会の早期実現
- 100年先の森林づくり
- 山岳資源を活かした地域活性化



飛驒高山SDGsパートナーシップセンター

SDGsの達成には、市民の皆さんや団体、事業者などの多様なステークホルダー（関係者）が一緒に取り組んでいくことが必要です。

個々の取り組みを行うことに加え、多様なステークホルダーがつながり、互いに関係性を持ちながらSDGsの取り組みを進めることで、地域課題の解決や新たな発想の創出が生まれ、これまで想像できなかったような活動が起き、新たな道も拓かれます。

そうした相互の連携・協力による取り組みを生み出し、持続可能なまちづくりを推進するため、「飛驒高山SDGsパートナーシップセンター」を令和4年5月16日に設立しました。

当日は、センター長に就任される細田衛士さん（東海大学副学長）に委任状が交付された後、経済、社会、環境の各分野で活躍されている委員による取り組み事例の紹介や、SDGs推進アドバイザー、オブザーバーである中部大学を交えた意見交換を行いました。

その中で、SDGs未来都市計画に掲げる「世界を魅了し続ける国際観光都市 飛驒高山の実現」に向けた取り組みについて大変貴重な意見をいただきました。

今後は、このパートナーシップセンターをSDGs推進のためのプラットフォームとして、様々なステークホルダーの連携を深め、SDGsの取り組みを促進します。



活動内容

Action1

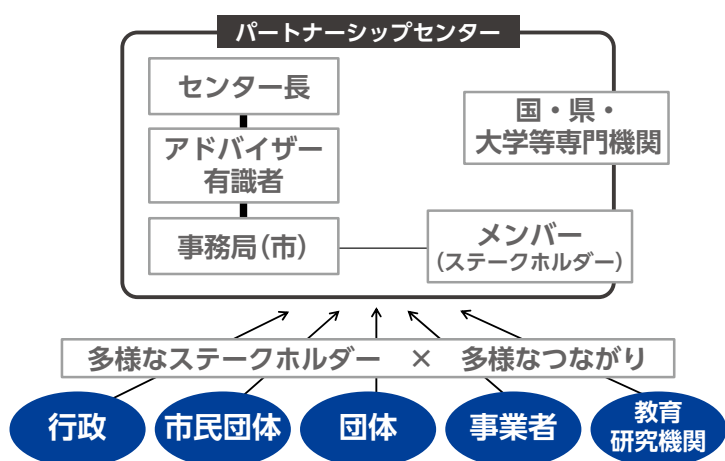
SDGs活動の活性化
（ステークホルダーの連携促進）
・飛驒高山SDGsパートナー登録制度

Action2

SDGsの気づき、きっかけづくり
・私なりのSDGs宣言制度

Action3

SDGsに関する普及啓発・情報発信
・市HP、SNSなどによる情報発信
・シンポジウムやセミナーの開催
・リーフレットやコンテンツの作成 など





SDGs 推進アドバイザー
ふるさと けいし
古里 圭史

- ・既に取り組んでいる活動を、みんなで共有することが第一歩
- ・先進的な取り組みをしっかりと押さえつつ、高山市ならではの更なる一步を踏み出したい
- ・地域に生まれたスキマ(課題)を一つの主体で埋めることは難しいため、情報共有や共感、当事者意識の醸成によって連携・協働していくことが重要

ステークホルダーの連携が重要！



SDGs 推進アドバイザー
せき さちこ
関 幸子

- ・国の選定するSDGs未来都市の中でも、国際的なものを目指すのは高山市だけであり、日本のトップバッターであるという認識を持ってもらいたい
- ・観光のローカルルールを定め、高山への観光はこのような行っていて欲しいということを決めてもらいたい

今は国際観光の大転換期！大きなチャンス



センター長
ほそだ えいじ
細田 衛士

- ・SDGsに既に取り組んでいる事例を市内全体へ具体的に広がりを持たせていくことが重要
- ・市民がSDGsとは何かを「自分事」として紐づけて、世代を超えて取り組むことを考えることが重要
- ・高山市が持つ美しい自然環境を維持しながら、観光へと結びつけることが重要

みんながわくわくするような取り組みを！



●市内のSDGs活動の事例発表

(株)長瀬土建

大八まちづくり協議会

- ・各種講座の開催(東小、高齢者など)
- ・親子対象エコチェックシートの実践
- ・「私なりのSDGs宣言」を行った方へ地区の店舗で利用できるクーポンの発行 など



- ・未来につながる豊かな自然を守り、育む
- ↓環境美化、森林保護活動への積極的参加
- ・安心・安全、快適な暮らしを守る
- ↓グリーンインフラ、森林の多機能利用
- ・社員一人一人が誇りを持つて働く
- ↓私の取り組みSDGs宣言など「言える化」
- ・パートナーシップ
- ↓地元中学生のICT施工現場見学会など

一緒にSDGs始めませんか？

市の取り組みの紹介

①「私なりのSDGs宣言」

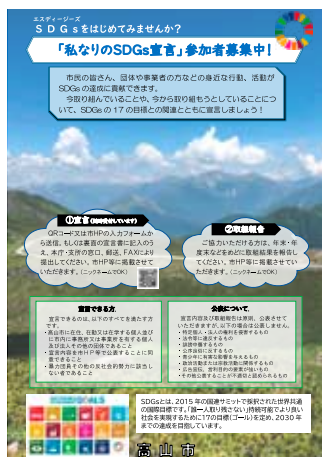
市民の皆さん、団体や事業者などの身近な行動・活動がSDGsの達成につながります。

例えば、「無駄な電気はこまめに消す」や「作ってもらったご飯は食べ切る」など、今、取り組んでいることや今後取り組みようとしていることについて、SDGsの17の目標とともに宣言しましょう。

宣言は、ニックネームでも公表でき、健康エコポイントのポイント(目標3に関連した宣言に限ります)にもなりますので宣言し、SDGsの達成に向けて取り組みを始めましょう。

申込み 宣言書を企画課(本庁4階)、支所窓

□、郵送、FAX、市HP(QR)で提出。宣言書は企画課または市HP(QR)からダウンロード



SDGsに関する情報は
こちらへ



市公式 HP



市公式 Facebook



市公式 Instagram



市公式 Twitter

市では、市HPやSNS (Facebook、Instagram、Twitter) で宣言について随時紹介しています。また、ヒットネットTV、Youtubeでは宣言された団体・事業者の取り組みを紹介する番組を配信しています。ぜひご覧ください(動画に出演していただける団体・事業者も随時募集しています)。

②「飛騨高山SDGsパートナー登録」

市内の団体、事業者が行うSDGs活動の見える化と、他のステークホルダーとの連携・協力によって相乗効果を創出し、地域課題の解決や活動の活性化を図るため、「飛騨高山SDGsパートナー登録」制度を開始しました。

詳しくは、市HPをご覧ください。

登録者間での情報共有

〈情報の共有〉

◆市や登録者からのSDGsに関する情報を登録者間で共有

- ・市からの様々な情報(県補助、市事業など)のメール発信
- ・登録者からのSDGsのイベントや参加者募集などのメール発信

登録者間での連携

〈支援・課題解決〉

- ◆市や登録者のマッチング支援
- ・SDGs推進に向けた課題などに対し、登録者同士の協力・連携に向けた支援

◆アドバイザーからの助言

- ・SDGsを企業・団体活動に活かす方法などについてアドバイス

市民へのPR

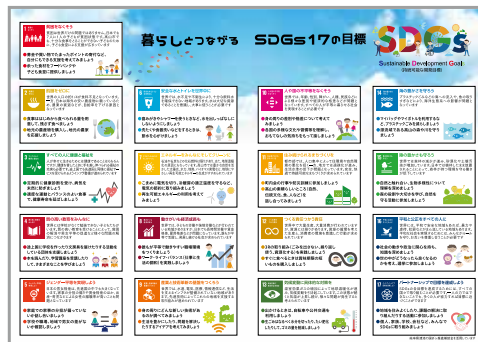
〈活動情報の発信〉

- ◆登録者の情報や活動内容を紹介(見える化)
- ・登録証の掲出
- ・登録者の目標、取り組み状況(進捗状況・実績)を紹介
- ・登録者の活動内容をSNS、ヒットネットTV、リーフレットなどで紹介

③普及啓発・情報発信

●ポスター・リーフレット

市では、SDGsに関するリーフレット（小学生向け、中学生以上向け）を市内小中学校の児童・生徒の皆さんへ配布しています。夏休みを活用して、SDGsについて考えてみましょう！



リーフレット（小学生向け）

リーフレット（中学生以上向け）



ポスター、リーフレットについて、必要な方にお渡ししています。SDGsに取り組んでいることをPRしたり、SDGsの学習をしたい方など、ご活用ください。

●出前講座の開催

市では、市のSDGsの取り組みに関する出前講座を実施しています。まずはお問い合わせください。

【新宮まちづくり協議会 31人】

- ・新宮まちづくり協議会の役員にSDGsを理解して活動してもらいたいとの依頼により開催

- ・SDGsの17の目標や、私なりのSDGs宣言を行い、日常生活で実践するための方法などについて講演しました。



【斐太高等学校 240人】

- ・「総合的な探求の時間」の授業において、市のSDGsの取り組みについて理解を深めたいという依頼により開催
- ・1年生を対象に、市のSDGsの取り組みについてオンラインによる配信で、講演を行いました。



暮らしとつながる SDGs 17の目標



- 募金や買い物でたまったポイントの寄附など、自分にもできる支援を考えてみましょう
- 余った食材を市内の子ども食堂やフードバンクに提供しましょう



- 食事は始めから食べられる量を用意して、残さず食べましょう
- 地元の農産物を購入し、地元の農家を応援しましょう



- 定期的な健康診断を受け、病気を未然に防ぎましょう
- 適度な運動とバランスのよい食事で、健康寿命を延ばしましょう



- 途上国に学校を作ったり文房具を届けたりする活動をしている団体を支援しましょう
- 本を読んだり、学習講座を受講したりして、様々なことを学びましょう



- 家庭での家事の分担が偏っていないか話し合いましょう
- 学校や職場、地域で男女の差がないか確認しましょう



- 歯みがきやシャワーを使うときなど、水を出しっぱなしにしないようにしましょう
- 洗濯や食器洗いなどをするときには、節水を心がけましょう



- こまめに電気を切り、冷暖房の適正温度を守るなど、電気の節約に取り組みましょう
- 再生可能エネルギーの利用を考えてみましょう



- 誰もが平等で働きやすい職場環境をつくりましょう
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実践しましょう



- 身の周りにどんな新しい技術があるのか調べてみましょう
- 生活を豊かにするアイデアを考えてみましょう



- 身の周りの差別や格差について考えてみましょう
- 各国の多様な文化や習慣などを理解し、おもてなしの気持ちをもって接しましょう



- 町内会の行事や防災訓練に参加しましょう
- 高山の素晴らしいところ(自然、伝統文化、食、人など)を話し合ってみましょう



- 3Rの取り組み(ごみを出さない、繰り返し使う、資源化する)を実践しましょう
- すぐに食べるときは賞味期限の短いものを購入しましょう



- 出かけるときは、自転車や公共交通を利用しましょう
- 生ごみはなるべく水分を切ったり、たい肥化したりして、ゴミの量を削減しましょう



- マイバッグやマイボトルを利用するなど、プラスチックごみを減らしましょう
- 源流域である高山の森や川を守りましょう



- 自然と触れ合い、生物多様性について理解を深めましょう
- 森の役割や大切さを学び、自然を守る活動に参加しましょう



- 社会の動きや政治に関心を持ち、知識を深めましょう
- 世の中がどうなったら良くなるのかを考え、選挙に参加しましょう



- 地域を住みやすくしたり、課題の解決に取り組んだりする活動に参加しましょう
- 個人、家族、学校、会社など、みんなでSDGsに取り組みましょう



さあ、あなたなりのSDGs、はじめてみませんか？

編集・発行／高山市企画部広報聴課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL／0577-32-3333(代)

FAX／0577-36-2060 (市長室直通)

FAX／0577-35-3174 (広報聴課直通)

E-mail／kouhou@city.takayama.lg.jp

HP／<https://www.city.takayama.lg.jp/>

携帯用HP／<http://mobile.city.takayama.lg.jp/>

防災行政無線の内容は電話でも確認できます

☎0180-995-690



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

